

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価の切り下げの方法により算定)により計上する。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の減価償却方法

定額法による。

無形固定資産の減価償却方法

定額法による。

なお、当協会使用のソフトウェアの減価償却方法は、当協会内における利用可能期間の5年に基づく定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金は、従業員に対して支給する賞与の支払に充てるため、支給見込額に基づき計上する。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等は税込処理により処理する。

2 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産計	0	0	0	0
特定資産				
志和教習所便所建替積立金	17,250,000	0	17,250,000	0
福山教習所取得改良積立金	19,800,000	6,600,000	0	26,400,000
講習システム改修準備資金	8,000,000	4,000,000	0	12,000,000
特定資産計	45,050,000	10,600,000	17,250,000	38,400,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産計	0	0	0	0
特定資産				
福山教習所取得改良積立金	26,400,000	0	(26,400,000)	-
講習システム改修準備資金	12,000,000	0	(12,000,000)	-
特定資産計	38,400,000	0	(38,400,000)	0

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地	62,910,239	0	62,910,239
建物	220,504,686	108,271,245	112,233,441
構築物	91,116,371	73,647,484	17,468,887
什器備品	7,203,030	4,719,632	2,483,398
ソフトウェア	29,160,000	13,122,000	16,038,000
合 計	410,894,326	199,760,361	211,133,965

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細は、「財務諸表に対する注記」に記載している。

2 引当金の明細

賞与引当金

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	8,534,667	7,540,066	8,534,667	0	7,540,066